地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊とは
人口減少や高齢化等の進行する地域に都市部の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行うことで、地域の活性化を図る制度です。

○渡邊隊員が任期終了となります○
3年間ありがとうございました

地域おこし協力隊の任期は最長3年となり、本市協力隊第3号である渡邊美潮隊員が10月末をもって任期終了となります。渡邊隊員は、令和元年12月に開局したコミュニティ放送局FMゆうがおで放送中の市提供番組「しもつけピタッとラジオ」にて、パーソナリティ及び制作、番組業務全般を担当しました。渡邊隊員とラジオに出演された方も多いのではないでしょうか。
3年間の活動や下野市の思い出について、改めてお話しいただきました。

市長に就任インタビューをする渡邊隊員

①下野市で3年間を過ごして

着任してから「久しぶり！」と言葉をかけてもらえるのがとても嬉しかったです。エフエム栃木レディオベリーで放送されていた下野市の番組リポーターを担当していた頃からお世話になっている方々ばかりで、長いお付き合いになります。“みっしー”と気軽に呼んでもらえるのがどれだけ嬉しいことだったかを、退任を迎えてしみじみ感じています。
地域おこし協力隊は新しい風を吹かせないといけない、とも思いましたが、自分のように下野市に元々ゆかりがある人間が協力隊だっていいじゃないかと開き直って、市内を知っているからこそもっと注目して欲しい人、モノ、スポットに焦点を当てて、3年間で本当に沢山の方にご出演いただきました。10年近く関わっていても、特集できていないことがまだまだ沢山あるので、下野市は無限大です。

市社会福祉協議会コーナーの収録

上三川高等学校放送部とのコラボレーション企画

②協力隊事業（思い入れのある企画）について

すべての企画に思い入れはありますし、出演いただいた皆さんには感謝の気持ちしかありません。
私の着任後すぐに、新型コロナウイルスが猛威を振るい、活動が不自由になりました。スタジオの人数制限、イベントは中止になり出張特別放送が開催できない、お知らせもコロナ情報ばかり。その中でも、在宅医療医師でいらっしゃるつるかめ診療所の鶴岡先生に新型コロナの感染予防について、また自治医科大学附属病院の佐田教授に新型コロナによる医療危機とワクチン、治療薬についてお伺いできたことは、行政番組だったからこそだと思います。

つるかめ診療所の鶴岡先生と

③市民の皆さまに

退任後も下野市の様々な所に出没する予定です。気軽にお声がけいただけましたら幸いです。また、「イベントあるから手伝って」や「MCやってほしい」などのお誘いも喜んでお待ちしています。これからも下野市を盛り上げていきましょう！

■問い合わせ先　総合政策課　☎(32)8886